



公立大学法人 山陽小野田市立
山口東京理科大学
Sanyo-Onoda City University

薬剤師のDX分野等スキルアッププログラム



山陽小野田薬剤師会
城戸 一晃 専務理事

山陽小野田薬剤師会
上林 雅樹 会長

受講者募集

受講料
無料

【募集締切】 令和4年9月22日(木)まで

● 薬剤師の資格をお持ちの方、
スキルアップしてみませんか？

● 現在のスキルにデジタル領域の知識を増やしたい方、
復職・起業等を検討している方の受講を歓迎！

山陽小野田市立山口東京理科大学
生涯学習センター

薬学部の実績を活かした薬剤師向けリカレント教育プログラム

山陽小野田市立山口東京理科大学では、平成30年に薬学部を開設いたしました。以来、薬学を通して、地域から新しい日本の医療を創ること、地域と世界を繋ぐことを目指し、教職員一丸となって薬学の教育・研究・地域貢献に邁進しているところです。

本プログラムは、文部科学省のリカレント教育推進事業の採択を受けて実施するものです。AI感情ソリューションやメガネ型ウェアラブル端末を活用した本学ならではの授業科目もご用意させていただきました。このプログラムの受講を契機として、スキルの習得に加えて、今後のキャリアプランを見直す一助となれば幸いです。

山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部教授
生涯学習センター長 恵谷 誠司
(プログラム責任者)



プログラムの目的 子育て等で離職中の女性薬剤師の方々や、新しい地域貢献機能を持つ薬局経営を目指す薬剤師の方々がDXの手法を活用することにより、即戦力となり得る実践的な知識や起業精神を身に付け、スキルアップはもとより就職、復職や起業が可能な人材として活躍されることを目的とします。

身に付けられる能力・スキル 薬機法に規定されている健康サポート薬局の取組に貢献可能な能力の取得とともに、山口県が推奨する健康エキスパート薬剤師へのスキルアップ、また山陽小野田市が推奨するスマイルエイジング薬局への取組に貢献可能な能力を取得できます。

研修認定薬剤師制度の適用 授業の一部は、日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師制度の適用となる予定です。2時間授業の場合、1単位となります。



受講期間 2022年10月上旬から2023年3月中旬まで

最低受講時間数 60時間

募集人員 20名(正規雇用の方15名、非正規雇用・失業中の方5名)

対象者 薬剤師の資格を有する方で、オンライン(Zoom)を使った講座受講が可能な方。デジタル領域の知識を増やしたいとお考えの方、就職・復職・起業等を検討している方の受講を歓迎します。

受講料 無料

申込方法 メールで簡単に申し込めます！
メール(tiiki@admin.socu.ac.jp)の件名に「DXプログラム受講希望」と明記の上、以下の必要事項を記入いただき、ご応募ください。

① 氏名、フリガナ ② メールアドレス ③ 電話番号 ④ 住所 ⑤ 年齢

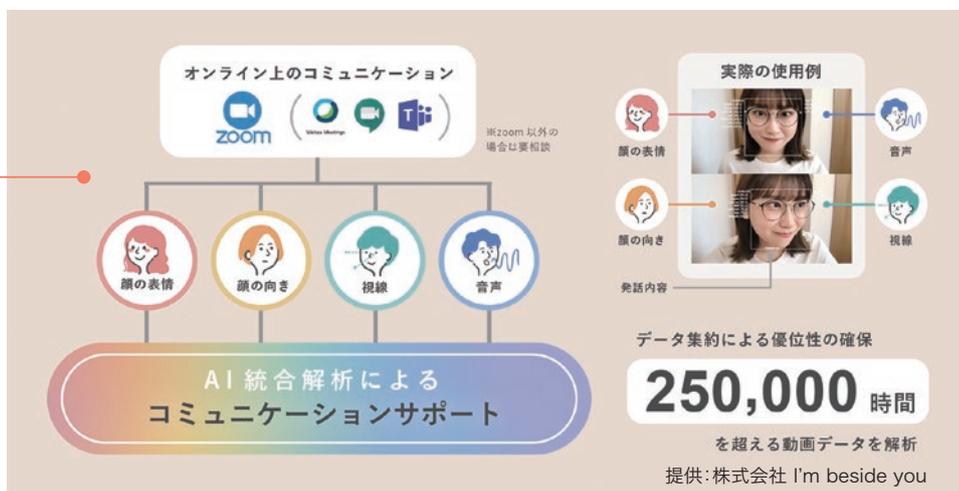
⑥ 現在の就労状況 ⑦ 応募理由 ⑧ 本プログラムを知ったきっかけ

ご記入いただいた個人情報は、本プログラムの実施に係わる目的以外では使用しません。

募集締切 9月22日(木)

AI感情ソリューションを活用したオンライン服薬指導の実習

患者役の受講者の表情をAIが解析することにより、AIによる感情分析とオンライン服薬指導の在り方を学びます。



メガネ型ウェアラブル端末を活用した遠隔地服薬指導の実習

患者役の受講者がメガネ型ウェアラブル端末を装着して服薬することで、患者視線を理解し、オンライン服薬指導での留意事項を考察します。

近未来におけるドローンを利用したメディカルデリバリー

大学構内でドローンを飛行させ、薬を患者さんの元に届けるシミュレーションを行います。患者役の受講者はメガネ型ウェアラブル端末を装着し、薬の受け取りの際の視線を理解し、留意事項を考察します。



部分受講について

一科目単位での受講も無料で受けられます。人数制限はありません。部分受講につきましては、随時受け付けております。メール (tiiki@admin.socu.ac.jp) の件名に「DXプログラム部分受講希望」と明記し、希望の授業科目の番号を記入の上、「申込方法」の要領でご応募ください。

問い合わせ先

山陽小野田市立山口東京理科大学
生涯学習センター(地域連携・生涯学習課)
TEL 0836-88-4515 FAX 0836-88-3400
MAIL tiiki@admin.socu.ac.jp

基礎講座「DXの先にある新しいヘルスケア産業」

No. 1	10月5日(水) 19:15~21:15 遠隔・必修	我が国の医療の現状と課題 武田 健 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部長 下川 昌文 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部教授	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者社会から超高齢者社会への移行を理解し、医療の構造改革を学ぶ わが国の医療制度、医療経済と医薬品、医薬品の流通 地域医療の現状を理解し、その問題点を学ぶ
	10月25日(火) 19:15~21:15 遠隔・必修	AI医療とヘルスケア 相良 英憲 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部准教授	あらゆる分野でイノベーションの原動力となっているAIとICT、医療やヘルスケアの分野をどう変革して行くのか、その動向と未来の姿について考察する。
★ No. 2	10月31日(月) 19:15~21:15 遠隔・必修	イノベーションが変える地域薬局ビジネス 山本 晃之 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部講師	在宅医療・介護を柱とした新しい時代における地域薬局のビジネスモデルについて学ぶ。
	10月28日(金) 19:15~21:15 遠隔・必修	薬剤師によるカスタマーエンゲージメント ～患者の声を活かした医薬品開発～ 小野 浩重 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部教授 山本 晃之 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部講師 上林 雅樹 山陽小野田薬剤師会会長	患者から薬剤師が薬の飲みやすさ、飲みにくさ、安全性などの情報を製薬会社にフィードバックすることにより、患者の声を活かした医薬品開発につなげるカスタマーエンゲージメントを学ぶ。
★ No. 3	10月17日(月) 19:15~21:15 遠隔・必修	薬剤師のための課題解決実践演習 吉開 章 株式会社電通 恵谷 誠司 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部教授	多様性を包摂した共生社会に向けた薬剤師による情報保障の在り方について考える。 ・グループ討議と問題解決のためのヒントに関する講義の実施 ・グループ討議等を踏まえたレポートの作成
	10月15日(土) 15:00~17:00 遠隔・必修	人生100年時代における薬剤師 松垣 裕明 山陽小野田薬剤師会専務理事	薬局を地域に密着した健康情報の拠点にする健康サポート薬局制度の現状と課題を理解する。
No. 4	10月8日(土) 15:00~16:00 遠隔・必修	人生100年時代における薬剤師 梶井 浩志 元山口県健康福祉部審議監 山陽小野田市立山口東京理科大学理事長特別顧問	山口県健康エキスパート薬剤師の登録制度と、健康維持・増進に貢献できる薬剤師像を理解する。
	10月29日(土) 15:00~16:00 遠隔・必修	人生100年時代における薬剤師 尾山 貴子 山陽小野田市健康福祉部次長	山陽小野田市におけるスマイルエイジング薬局構想と患者の未病に貢献できる薬剤師像を理解する。
No. 5	10月22日(土) 15:00~17:00 遠隔・必修	離島・僻地で活躍する薬剤師 田中 孝明 鹿児島県種子島薬剤師 田中 秀和 長崎県五島列島薬剤師	離島僻地で奮闘する薬剤師の姿に触れ、薬剤師に求められる資質とIoT、AI技術による新しいヘルスケアの可能性を考察する。 ・離島医療の現状を知る ・離島ならではの薬剤師の活動を知る ・イノベーションが変える離島医療を考察する

受講方法

講義科目はオンデマンド方式によるオンライン（遠隔）を中心に開講します。講義の8割以上がオンラインであり、ご自宅にいながらでも、お好きな時間に授業を受けられます。標記の日程には双方向で授業が行われ、翌日以降、オンデマンドで視聴できます。受講期間中、パソコンを無償で貸与します。

対面での授業は、本学の教室で集合研修という形態で行います。学生気分を感じながら授業に臨んでください。

デジタル DX スキル講座

No.10	11月5日(土) 15:00~17:00 遠隔・必修 情報セキュリティ入門 緒方 浩二 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部教授	患者情報・インターネットを扱う上での情報倫理及び情報セキュリティを理解する。
★ No.11	1月29日(日) 10:00~12:00 / 13:00~15:00 遠隔・必修 ※この科目は4時間を2回に分けて実施します。 Excelによるデータ解析入門 緒方 浩二 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部教授	Excelによるデータシート作成法とデータ整理、データ解析に必要な関数について演習する。
★ No.12	11月26日(土) 15:00~17:00 遠隔・必修 地域包括ケア・多職種連携用 SNS メディカルケアステーションの入門講座 松垣 裕明 山陽小野田薬剤師会専務理事	医療介護の現場で利用されている地域包括ケア・多職種連携のためのデジタルコミュニケーションツールであるメディカルケアステーション(MCS)の操作方法を習得する。
★ No.13	1月10日(火) 19:15~21:15 対面・必修 AI感情ソリューションを活用したオンライン服薬指導の実習 相良 英憲 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部准教授	受講者がオンライン服薬指導を体験し、AI感情ソリューションにより、患者役の受講者の表情をAIが解析することにより、AIによる感情分析とオンライン服薬指導の在り方を学ぶ。
★ No.14	12月17日(土) 15:00~17:00 対面・必修 メガネ型ウェアラブル端末を活用した遠隔地服薬指導の実習 緒方 浩二 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部教授	遠隔地での服薬指導の実習として、患者役の受講者がメガネ型ウェアラブル端末を装着して服薬することで、患者の視線を理解し、オンライン服薬指導での留意事項を考察する。
★ No.15	1月22日(日) 15:00~17:00 対面・必修 近未来におけるドローンを利用したメディカルデリバリー 相良 英憲 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部准教授 緒方 浩二 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部教授 貴島 孝雄 山陽小野田市立山口東京理科大学工学部教授 内田 陽三 山陽小野田市立山口東京理科大学共通教育センター教授	大学構内でドローンを飛行し、薬を患者の元に届けるシミュレーションを行う。患者役の受講者にはメガネ型ウェアラブル端末を装着し、薬の受け取りの際の視線を理解し、留意事項を考察する。
No.16	11月19日(土) 15:00~17:00 遠隔・必修 医療DXマイナンバーカードの健康保険証活用 太江 俊輔 厚生労働省保険局医療介護連携保険データ企画室係長 上林 雅樹 山陽小野田薬剤師会会長	マイナンバーカードを健康保険証として利用できるオンライン資格確認のメリットと利用方法を学び、患者の特定健診情報と薬歴情報の共有化によるデジタル活用を学ぶ。
No.17	11月25日(金) 19:15~21:15 遠隔・必修 お薬手帳のデジタル化と有効活用法 上林 雅樹 山陽小野田薬剤師会会長	個人の服薬履歴を管理する「電子お薬手帳」の有効活用法を学び、利用者側のメリットと薬局側のメリットを理解する。
★ No.18	12月10日(土) 15:00~17:00 対面・必修 時計型ウェアラブルデバイスによる健康管理 木村 雄弘 慶応義塾大学医学部 内科学教室(循環器)循環器内科専任講師 SFC研究所 上席所員	時計型ウェアラブル端末の利用方法を学び、心拍数、歩数、睡眠管理、消費カロリー、血圧、移動距離、長時間座りすぎ注意などの健康管理ができることを学ぶ。

研修認定薬剤師制度

授業科目のナンバーの上に★が付いている科目は、日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師制度の適用となる予定です。単位の対象となるには、遠隔授業であっても本学で受講いただく必要があります。(単位取得をご希望の方は、部分受講も可能です。)

薬局マネジメント DX 講座

No.19	12月3日(土) 15:00~17:00 遠隔・選択 ヘルスケア産業におけるジェンダーダイバーシティと女性のエンパワーメント 塩満 典子 元内閣府男女共同参画局参事官・調査課長 山陽小野田市立山口東京理科大学研究推進部長	ヘルスケア産業において女性の能力を引き出し、職場における女性のエンパワーメント(能力開花)の必要性を理解する。
No.20	1月28日(土) 17:15~19:15 遠隔・選択 医薬品のインターネット販売の基礎 松垣 裕明 山陽小野田薬剤師会専務理事	医薬品のネット販売のルールの概要と出店する際の留意事項を学ぶ。
★ No.21	1月21日(土) 17:15~19:15 遠隔・選択 リアル店舗とオンライン薬局の融合による新たな顧客の創出 松垣 裕明 山陽小野田薬剤師会専務理事	リアル店舗とオンライン薬局の融合による新たな顧客の創出について学ぶ。
★ No.22	1月17日(火) 19:15~21:15 遠隔・選択 Excelを活用した調剤報酬演習 恵谷 誠司 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部教授	診療報酬、調剤報酬、介護報酬の仕組み、実際の保険請求業務等についての説明と簡単な請求実務を実施できる。事例を基に調剤報酬を計算し、保険負担、自己負担、後発医薬品調剤、残業整理の医療経済における影響などについて考え、問題点と解決策などについて考える。
★ No.23	12月17日(土) 17:15~19:15 遠隔・選択 薬局のホームページと集客戦略 松垣 裕明 山陽小野田薬剤師会専務理事	スマートフォンが普及した時代にふさわしい薬局ホームページの作り方を学ぶ。
★ No.24	12月15日(木) 19:15~21:15 遠隔・選択 薬の受け取りまでシームレスに受けられるスマート医療 上林 雅樹 山陽小野田薬剤師会会長	オンライン診療と接続したオンライン服薬指導から薬の受け取りまでシームレスに受けられるスマート医療の未来を学ぶ。
No.25	11月12日(土) 17:15~19:15 遠隔・選択 採算がとれる薬剤師の居宅療養管理指導 松垣 裕明 山陽小野田薬剤師会専務理事	患者訪問時にバイタルサインをチェックすることで医療的な見守りの質を向上するなど、薬剤師の居宅療養管理指導の在り方を演習する。
No.26	11月12日(土) 15:00~17:00 遠隔・選択 アントレプレナーシップ 井上 智央 トリプリー株式会社 代表取締役社長	起業家によるアントレプレナーシップを学ぶ。

実習講座

No.34	2月16日(木) 13:00~16:00 対面・選択 地域の健康サポート薬局視察 松垣 裕明 山陽小野田薬剤師会専務理事	<ul style="list-style-type: none"> 健康サポート薬局の役割 地域との連携・主な近隣医療機関の診療科 健康教室・学術活動等について
No.35	日時未定 / 12月以降 (5時間 × 2回) 対面・選択 薬局実務実習 / ファミリー薬局(本町) おひさま薬局 山陽小野田薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> 服薬指導実践実習 患者・顧客との接遇 調剤後の患者のフォローアップ等
No.36	日時未定 / 12月以降 (3時間) 対面・選択 地域の製薬企業見学 / 見学場所未定 山口県製薬工業協会	<ul style="list-style-type: none"> 薬の製造過程を学ぶ 薬の管理等について

薬剤師ヒューマニティ講座

★ No.27	12月11日(日) 10:00~12:00 遠隔・必修 新型コロナ時代における訪問医療・在宅医療の感染防止入門 尾家 重治 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部教授	訪問薬剤管理指導と居宅療養管理指導を行う上での感染防止法について理解し、適切な消毒薬を選択できるようにする。
★ No.28	日時未定 / 12月以降 (2時間) 遠隔・必修 患者情報の適切な把握と処方設計入門 黒川 陽介 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部教授	患者・生活者本位の視点に立ち、薬剤師として薬物療法の実践と、チーム医療・地域保健医療への参画に必要な基本的事項を修得する。
★ No.29	1月30日(月) 19:15~21:15 遠隔・必修 在宅療養支援薬局に求められる薬剤師業務 山本 晃之 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部講師	薬を出した後の患者の状態を薬学的にチェックすることで、前回処方の妥当性を評価し、どうすればよくなるかという意見を医師に伝えてディスカッションする能力を養成する。
★ No.30	2月25日(土) 15:00~17:00 遠隔・必修 薬剤師職能の普遍化と専門化 恵谷 誠司 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部教授 山崎 博史 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部教授 有海 秀人 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部准教授	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師の歴史と業務内容の変遷について理解する。 ・高度化する医療に対して薬剤師が専門性を持つことの意味を理解する。 ・健康サポート薬局、かかりつけ薬局などにおける薬剤師職能の普遍化の意味を理解する。 ・薬剤師職能の社会への還元(薬剤師としての成果を公表すること等を含む)の重要性を理解する。
★ No.31	1月21日(土) 15:00~17:00 対面・必修 聴き取りと共感をもったロールプレイ演習 頼岡 克弘 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部教授 山崎 博史 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部教授 有海 秀人 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部准教授 坂井 久美子 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部講師	<p>ロールプレイ演習の目的および概要説明 ロールプレイのペアと班員の割り振り確認 自分の心理状態を意識して、他者と接することについて(態度) 適切な聴き方、質問を通じて相手の考え方や感情を理解するように努めることについて(技能・態度) 「聴き取りと共感をもった返答」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイ演習：患者役と薬剤師役(不適切な会話例の問題点の抽出と会話例を改善例の検討をSGDで行う) ・ロールプレイ演習とレポート提出：患者役と薬剤師役(改善した会話例の発表と他の班の評価：評価採点と良かった点と改善できると思う点の抽出) ・教員が全班の良かった点、改善できると思う点をまとめ各班へフィードバックし、学生は各班の意見に対して、会話例を再検討しレポートを再提出する(会話例を改善しない場合は理由も記載する)
★ No.32	1月28日(土) 15:00~17:00 遠隔・必修 患者のセルフメディケーションと薬剤師 有海 秀人 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部准教授 山本 晃之 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部講師 廣實 清司 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部講師	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病に対する薬剤師の役割について理解し、薬剤師がセルフメディケーションに関わる重要性について学ぶ。 ・セルフメディケーションにおける薬局の役割について理解する。 ・地域における疾病予防、健康維持増進、セルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を理解する。
No.33	日時未定 / 12月以降 (2時間) 遠隔・必修 多職種連携 河合 伸也 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部教授 荒川 智美 山陽小野田市地域包括支援センター所長	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師に対する医療での位置づけに関して介護士等の立場から概説する。 ・地域医療での介護士等の役割について理解する。

アクセス・周辺マップ



薬剤師のDX分野等スキルアッププログラムの受講について

本プログラムでは、総授業60時間を受講する必要があります。

各講座の ○ 必修の授業は、全て(50時間)受講してください。そのうえで、講座の ○ 選択の授業から10時間以上を選択し総授業60時間以上となるように受講してください。不測の事態で受講時間数に不足が生じないように考慮し受講数を確保してください。

授業科目、授業日程については、別表の授業科目一覧にてご確認ください。

	モデルケース1	モデルケース2	モデルケース3			
	就職・復職	DXを学ぶ	スキルアップ・起業を目指す			
	科目数	時間数	科目数	時間数	科目数	時間数
必修 16時間 基礎講座「DXの先にある新しいヘルスケア産業」 7科目	7	16	7	16	7	16
+						
必修 20時間 デジタルDXスキル講座 9科目	9	20	9	20	9	20
+						
選択 16時間 薬局マネジメントDX講座 8科目	0	0	5	10	4	8
+			※リアル店舗とオンライン薬局の融合による新たな顧客の創出など		※アントレプレナーシップ必修	
必修 14時間 薬剤師ヒューマニティ講座 7科目	7	14	7	14	7	14
+						
選択 16時間 実習講座 3科目	1	10	0	0	1	3
+	※薬局実務実習が必修です				※薬局視察または企業見学	
	↓		↓		↓	
	総科目数	総時間数	総科目数	総時間数	総科目数	総時間数
	24	60	28	60	28	61

※モデルケース1～3は、プログラム受講目的ごとの目安です。

受講目的に合わせて、総時間数(必修+選択)が60時間以上となるよう選択科目を選択してください。全ての科目を受講することも可能です。

